

萬世大路

東北中央自動車道
(福島～米沢北) 通信

第46号 平成26年9月 発行



工事紹介 ぱーと37

- 水窪地区舗装工事：延長1,540m
- 刈安地区舗装工事：延長1,753mの区間を舗装します。
(施工場所については萬世大路第43号をご覧ください)



↑水窪地区舗装工事

スリップフォーム工法による施工状況(コンクリート打設時)

みずくぼ

◇水窪地区舗装工事

受注者：(株)佐藤渡辺

工期：H26年4月～H26年10月

かりやす

◇刈安地区舗装工事

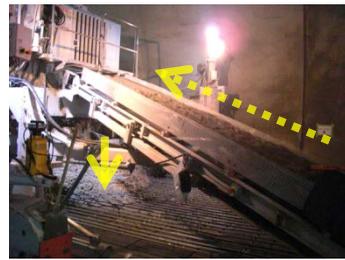
受注者：大林道路(株)

工期：H26年3月～H26年11月

コンクリート舗装をする工事です。

施工は「スリップフォーム工法」を採用しています。

スリップフォームパーバと呼ばれる舗装機械に生コン車からのコンクリートを流し込みます。この舗装機械は自動制御装置によって作動し一連の舗装工程を連続施工できる機能が備わっています。



↑ベルトコンベアを經由し
コンクリートを供給



↑締固め、表面仕上げ
コンクリートを供給



↑刈安地区舗装工事

スリップフォーム工法による施工状況(コンクリート打設完了)

コンクリート舗装は複数の層で構築されており、アスファルトの上に厚さ25cmの舗装を行います。

現在は上り車線分のみの舗装となっていますが、下り車線分にも同じ厚さのコンクリート舗装を施します。

従来の舗装では、型枠を使ってその中にコンクリートを流し込む作業を行っていました。

しかし、今回の工法では型枠が不要となるため工事の省力化、および工期短縮ができる技術です！



Q.舗装表面の
この隙間なあに？

素朴な
疑問!



A.これは「カッター目地」といいます。

コンクリートは、収縮や膨張が原因でひび割れが発生します。その際にひび割れ位置を誘発し、一ヶ所に集中させる目的で作られます。

水窪地区舗装工事では、現場見学会を実施しました！



この日は報道関係者の方々も
いらっしゃいました！

- ・山形テレビさん
(8/22放送)
- ・さくらんぼテレビさん
(8/22放送)
- ・米沢新聞さん
(8/23掲載)



↑米沢市刈安地内
水窪第2トンネルにて



8/22に水窪地区舗装工事では、(株)佐藤渡辺自社で2年前に考案した「縦取り式スリップフォーム工法」を関係者や国交省向けに現場見学会を実施し、約20名が訪れました。

今般のコンクリート舗装では通常道路の両側を使用し施工されますが、この工法を活用すれば道路の片側のみで施工が可能となります。

そのため、一般通行の影響を少なくすることができるとともに工期短縮にもつながるといわれる画期的な工法を披露しました。

現場のエキスパート

～刈安地区舗装工事～

～水窪地区舗装工事～



監理技術者 現場代理人
大林道路(株) 鎌田真由子さん 千葉良隆さん

当現場では日頃の取り組みの一つとして「一声掛け運動」を推進しています。所属会社の枠を超え、同じ現場で働く仲間という意識を持つことで、コミュニケーションの充実を図り、お互いに危険を注意し合える明るい現場づくりを目指しています。

これからも無事故無災害で多くの仲間たちとともに協力し合い「いいものづくり」を目指して行きたいと思ひます。



現場代理人 監理技術者
(株)佐藤渡辺 藤原桐人さん 石岡洋介さん

当現場では日頃から「みんなが笑顔で明るく」仕事ができるような現場づくりに取り組んでいます。

取り組みの一つとして、現場に従事する方とたくさん会話をし、不満や改善すべき点については、なるべく早く対応するようにしています。また、コミュニケーションがとりやすいように、まず自ら笑顔でいるよう心がけています。

今後も無事故無完成はもちろんのこと、喜ばれる仕事に努めていきたいと思ひます。

ご意見・お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町260-2
TEL: 0238-37-5570 FAX: 0238-37-5575
<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/banseitairo/banseitairo.html>

